

令和 3 年 12 月 17 日

第 15 回実務修習
2 年コース受講者 各位

公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会
事務局 実務修習担当課

「不動産の鑑定評価の実務に関する講義」の受講について（ご連絡）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、「不動産の鑑定評価の実務に関する講義」の一部の科目について、第 16 回実務修習（令和 3 年 12 月 1 日開始）より、講師の変更を行ったうえで内容を刷新した新講義に切り替えましたが、15 回 2 年コースを受講中の実務修習生においては、受講期間内に同一の講義科目につき新旧 2 つの講義が受講可能な状態となっております。

新講義への切り替え後には、実務修習生自身により、e ラーニングサイト上で旧講義の受講状況が確認できない仕様となっていることから、旧講義の受講状況（令和 3 年 12 月 1 日時点）を下記のとおりご連絡いたします。

つきましては、内容をご確認いただき下記によりご対応をお願い申し上げます。

記

1. 新講義の対象科目

下表の講義 6 科目については、出演講師の変更を行い、内容を刷新しています。e ラーニングサイト上の各講義科目のタイトル末尾に、『(2021 年 12 月 1 日配信開始)』と付記しているものが新講義です。

講 義 科 目	旧講義・講師		新講義・講師
① 不動産鑑定士の倫理及び責任の範囲	高橋 宣之	➔	伊藤 聡
③ 価格等調査ガイドライン	井野 好伸		平岡 潤也
⑥ 土地建物に関する税金	井出 真		田島 美佳
⑪ 区分所有建物及びその敷地の鑑定評価	浜田 哲司		伊藤 憲
⑫ 地代の鑑定評価	竹下 俊彦		嶋田 幸弘
⑯ 原価法及び開発法	岩田 祝子		阿比留健次

(敬称略)

2. 旧講義における修習生個別の受講状況

新講義の配信開始により、e ラーニングサイト上では、実務修習生自身で旧講義の受講状況（動画の視聴状況及び確認テストの合格・不合格の状況）を確認できない仕様となっております。よって、旧講義における受講状況（令和3年12月1日時点）を記載いたしますので、ご自身の受講状況を確認のうえ、3.の要領に従いご対応をお願いします。

（12月17日付で郵送した通知文では、実務修習生各位の受講状況を個別に記載しています。）

旧講義・講義科目	旧講義・受講状況
① 不動産鑑定士の倫理及び責任の範囲 (高橋宣之 講師)	受講済み or 未受講
③ 価格等調査ガイドライン (井野好伸 講師)	受講済み or 未受講
⑥ 土地建物に関する税金 (井出 真 講師)	受講済み or 未受講
⑪ 区分所有建物及びその敷地の鑑定評価 (浜田哲司 講師)	受講済み or 未受講
⑫ 地代の鑑定評価 (竹下俊彦 講師)	受講済み or 未受講
⑯ 原価法及び開発法 (岩田祝子 講師)	受講済み or 未受講

3. 旧講義の受講状況による対応方法

上記2. の科目に係る旧講義の受講状況により、以下のご対応をお願いします。

(1) 旧講義「受講済み」の科目がある場合

「受講済み」に該当している科目については、既に旧講義の受講が完了しています（確認テストの合格を含む）。新講義の受講は必須ではありませんが、習熟度の向上のため、任意でこれらの講義を受講することは可能です。

(2) 旧講義「未受講」の科目がある場合

「未受講」に該当している科目については、新講義*の受講が必要となります。講義の受講期限となる**令和4年1月31日（月）24時**までに、新講義を視聴のうえ、視聴後にe ラーニング画面上で実施される確認テストに合格する必要があります。なお、本通知と行き違いで新講義の受講を完了（確認テストの合格）している場合には、再度の受講は不要です。

※ e ラーニングサイト上の各講義科目のタイトル末尾に、『(2021年12月1日配信開始)』と付記しているもの

4. その他（注意事項）

- 科目によっては、「確認テスト」のみで合格のものと、「確認テスト」及び「追加テスト（計算問題）」の計2種類の合格が必要なものがあります。
- 従前よりe ラーニングサイト上で配信を継続している10科目も含めた16科目全ての受講の完了（確認テストの合格）をもって、講義修了となります。

以上